

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

## ベナン月報（2024年6月）

### 【内政】

- 12日、ベナン政府は、経済予算計画（2025—2027）を閣議決定。同計画は30日に第9国民議会で採決の見通し。（13日付、La Nation 紙他）
- 17日、CRIETは、ニジェール人3名に対し、WAPCOターミナル内への不法侵入容疑で執行猶予付き18か月の有罪判決を下した。（18日、Le Matinal 紙他）

### 【外政】

- 4日及び5日に開催された韓国・アフリカサミットのマージンにおいて、タラタ副大統領とハン・ドクス韓国総理は、農業、教育、テクノロジー及び産業分野等の二国間協力に関し協議。（10日付、各紙）
- 26日、ソグロ元大統領及びヤイ前大統領は、ニジェールを訪問し、二国間関係正常化に向けチアニCNSP議長らと会談。（26日付、Le Matinal 紙他）

### 【治安】

- 4日、ベナン北部のパンジャリ国立公園において、パトロール中の国軍兵7名が、身元不明の武装集団による攻撃を受け死亡。（5日付、Le Matinal 紙他）

### 【経済】

- 11日、世銀は、コミュニケを通じ、食料安全保障と生産性の向上、及び北部住民のレジリエンス強化支援を目的として、1億5000万ドルの追加融資の実施を発表。（13日付、Le Matinal 紙他）
- 18日、ビオ・チャネ国務大臣は、投資産業促進公社総局長及びアライズIIPグループ事務所長らとグロ・ジベ経済特区（GDIZ）を視察。同関係者とGDIZの進捗に係る協議を実施。（19日付 La Nation 紙他）

### 【文化・その他】

- パリ五輪2024に、ベナン柔道代表のウイナト選手の初出場が決定。（28日付、Le Matin Libre 紙）

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙及びLe Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

### 【内政】

- 6日、経済犯罪・テロリズム防止裁判所（CRIET）は、西アフリカ石油パイプライン会社（WAPCO）ターミナル内にWAPCOニジェール支社の従業員が侵入し、ベナン国家警察に拘束された旨発表。（7日付、各紙）

- ・ 12日、ベナン政府は、閣議において経済予算計画（2025—2027）を決定。同計画は30日に第9国民議会で採決の見通し。（13日付、La Nation 紙及び14日付 Le Matinal 紙）
- ・ 17日、政府行動計画（フェーズ2）における医療システムの改善に基づき導入予定である救急車188台のうち、144台の引渡式がウンパティン保健大臣、メワヌ社会問題・マイクロファイナンス大臣及びベナン・コミューン協会（ANCB）会長の出席の下、実施。（18日付、La Nation 紙及び Le Matinal 紙、及び19日付 Le Matin Libre 紙）
- ・ 17日、CRIETは、WAPCOターミナル内への不法侵入容疑で拘留していたニジェール人3名に対し、執行猶予付き18か月の有罪判決を下した。（18日、Le Matinal 紙及び Le Matin Libre 紙）
- ・ 20日、ウンパティン保健大臣は、ベナン最大規模で最新機材を備えるカラビ国際総合病院（CHIC）の視察後に記者会見を開き、6月末から患者の仮受入を開始する旨発表。（21日付、La Nation 紙及び Le Matinal 紙）
- ・ 24日、第9国民議会は、国家勲章（学術、安全保障及び伝統文化分野等）の授賞範囲拡大に関する法律（2024年第28号）を全会一致で可決。（25日付、Le Matinal 及び Le Matin Libre 紙、26日付、La Nation 紙）

#### 【外政】

- ・ 5月31日、ベナン政府は、モロッコで開催されたアフリカ情報科学技術委員会（CAITA）において、モロッコとアフリカにおける情報デジタル開発での協力の覚書に署名。（4日付 Le Matinal 紙及び L' Economiste 紙）
- ・ 4日及び5日、韓国・アフリカサミットがソウルで開催され、タラタ副大統領が政府代表として出席。タラタ副大統領は、同サミットのマージンで、ハン・ドクス韓国総理と会談の上、農業、教育、テクノロジー及び産業分野の二国間協力に関し協議。（10日付、各紙）
- ・ 10日、アジャディ・バカリ外務大臣は、アルムバラク・サウジアラビア投資副大臣とともに、両国間の企業投資環境の改善を目的とする直接投資促進の協力に係る覚書に署名した。（11日付、各紙）
- ・ 20日、駐フランス・ベナン臨時代理大使により、サイバー犯罪に関する条約（ブダペスト条約）への正式加盟に係る文書が欧州評議会に提出。これにより、ベナンのブダペスト条約への正式加盟が決定。（25日付、La Nation 紙）
- ・ 26日、ソグロ元大統領及びヤイ前大統領は、ニジェールを訪問し、二国間正常化向けチアニ・ニジェール祖国救済国家評議会（CNSP）議長らと会談。（26日付、Le Matinal 紙及び27日付、Le Matin Libre 紙）

- ・ 26日、24日から26日にかけて開催された第11回仏語圏アフリカ及びフランス使節団会議開催に関し、ベナンを訪問していた同代表団は、タラタ副大統領の仲介の下、大統領府でタロン大統領と面会。（28日付、La Nation 紙及びLe Matinal 紙）

#### 【治安】

- ・ 4日、ベナン北部のアタコラ（ATACORA）県タンゲタ地区にあるパンジャリ国立公園において、パトロール中のベナン国軍兵7名が、身元不明の武装集団による攻撃を受け死亡。（5日付、Le Matinal 紙及びLe Matin Libre 紙）
- ・ 18日、コトヌ第5地区共和国警察は、スラム街の拡大の予防を目的とする治安対策オペレーションを実施し、違法薬品の所持、使用及び販売の疑いのある6名を逮捕した。（19日付、Le Matinal 紙）

#### 【経済】

- ・ 11日、世銀がコミュニケを通じ、食料安全保障と生産性の向上、及び北部住民のレジリエンス強化支援を目的とする1億5000万ドルの追加融資を実施する旨発表。（13日付、Le Matinal 紙及びL' Economiste 紙）
- ・ 18日、ビオ・チャネ開発・省庁間連携担当国務大臣は、グロ・ジベ経済特区（GDI Z）を訪問し、投資産業促進公社（SIP I—Benin）総局長及びアライズIIPグループ事務所長らとGDI Zの進捗に係る協議及び工場視察を実施。（19日付 La Nation 紙及びL' Economiste 紙）
- ・ 5日から11日にかけて、ベナンを訪問していた世銀プロジェクト調査団は、本年12月末に完了予定の「サヘルの女性のエンパワーメントと人口ボーナス・プロジェクト（SWEDD—BENIN）」の進捗評価を実施。（24日付、各紙）
- ・ 25日、ズマルICT・デジタル化大臣は、スタートアップ企業の登録及び管理を目的とする「スタートアップ登録技術委員会」の設置に関連し、7名の委員を任命。（27日付、各紙）

#### 【文化・その他】

- ・ 4日、駐ベナン・エジプト大使は、エジプト渡航直前のベナン人奨学金留学生7名（2名が学部レベル、他5名中等教育レベルに入学予定）と面会し、同国における留学生生活へ助言をしつつ、激励の言葉を述べた。（4日付、La Nation 紙）
- ・ 10日、駐ベナン・ロシア大使は、ロシアの日34周年記念レセプションを開催。同レセプションには、駐ベナン外交団長のモロッコ大使をはじめ、国際機関及びベナン政府関係者らが出席。（12日付、L' Economiste 紙）
- ・ 13日、駐ベナン・ルクセンブルグ臨時代理大使は、同国大使館を開設（3月）後初となる、建国記念日レセプションを開催。同レセプションには、駐ベナン外交団、国際機

関及びベナン政府関係者ら、約250名が出席。(14日付、La Nation 紙及び18日付L' Economiste 紙)

- ・ パリ五輪2024に、バルタン・ウイナト選手がベナン柔道代表(81kg級)として初出場することが決定。(28日付、Le Matin Libre 紙)